

平成 24 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

- 学びに向かう意欲を高め、自己実現に導く学校
- 確かな信頼関係を基盤に豊かな人間力を育む学校

2 中期的目標

- 主体性を引き出し、「やればできた」という達成感のある授業づくりに取り組む。
- 社会でたくましく生き抜く「自信」を育み、社会人材の育成に取り組む。
- 「高みに向かう力」を育み、自己の将来に真剣に向き合い「進路実現」を叶える。
- 最後の大和川高校生としての誇りを育む。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 年 月実施分]	学校協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
達成感のある授業づくり	○意欲を引き出し達成感のある授業	○「授業研究委員会」を立ち上げ、授業づくりについて学校のベクトルを揃え、教科の横断化と共通理解をはかる。 ○附属が行っている教育センターと協働した授業づくりに参加し、生徒の学力向上をめざす。 ○地元中学校との教科指導研究会 ○7限目補習・講習の実施。	○「授業研究委員会の立ち上げ」と「月に1回の開催」 ○教員のモチベーションの向上（アンケート） ○授業満足度「強く」が50%	
大和川生としての誇りを育む	○全員卒業	○「教育相談委員会」を「生徒サポート委員会」に発展的に改編し、この組織を中心に多様な生徒の総合的な支援に取り組む。 ○多面的総合的なサポート（進路相談、学習相談の充実） ○部活動の充実 ・3年間やりきったとい充実感 ・各部のOB会の実施と連携強化 ○適応指導教室の活用 ○創立50周年記念事業を成功させるとともに、最後の卒業生が大和川の歴史を附属に託すようスムーズな接続に努める。 ○OBによる「社会人力」育成講座の開講。	○満足感（アンケート） 肯定生徒 80%以上 ○信頼感（アンケート） 肯定生徒 60%以上 ○中途退学ゼロ	
高みに向かう力の育成	○進路実現と社会人力の育成	○補習、講習の充実 ○外部テストの活用 ○外部連携の拡大と強化 府立大学、JAXA、OFIX、南大阪コンソーシアムなどと連携した特別授業の実施 ○神戸大学との連携した「キャリア教育プログラム」によるソーシャルスキルの育成 ・教育センター附属の探究科作成のソーシャルスキルチェックリストの活用 ○国際的視野を身につけさせる ・JICAとの連携による外国とのテレビ会議の実施	○進路未定者 10%以下 ○卒業時アンケート 充実度 70%以上	